

〔狛江市〕 学校運営協議会：議事録

会 議 の 名 称	令和8年度第2回一中ゾーン学校運営協議会
開 催 日 時	令和8年7月8日(水) 13時15分～15時50分
開 催 場 所	狛江市立狛江第一中学校 会議室および各教室
出 席 者 氏 名	高橋 かおり 佐藤 淳哉 梅本 ろり絵 亀井 和美 富永 浩正 平山 えり子 内海 貴美 大塚 直美 愛甲 悦子 大橋 らな 所 水奈 亀田 親子 岸田 和之
欠 席 者 氏 名	長島 理 増川 邦弘 宗像 直子 篠宮 悠子
傍 聴 者	0名
議 題	1. 全体会（本日の流れ等の説明） 2. 授業参観（5校時の授業） 3. 分科協議会 4. 全体会 (1)協議会分科会からの報告 (2)学校運営協議会委員による意見・感想等 5. その他
協 議 要 旨	1. 全体会 ・本日の流れや授業参観、その後の分科協議会等の確認を行った。 2. 授業参観 ・ゾーン内3校(一小、緑野小、一中)の教員と学校運営協議会の委員が、5校時に一中で展開している授業を参観した。 教科…「生活単元」「国語」「理科」「英語」「美術」「社会」「技術」「数学」 ・授業のテーマは「学習者が主体となる学びがみとれる授業の設定」で、ICT 機器や対話の取り入れ、課題解決型や問題解決型の授業を意識して、各授業を展開した。 3. 分科協議会 ・以下の分科会に分かれて、委員と教員と一緒に協議した。 「生活指導」「WEBQU」「ICT」「体力向上」「特別支援教育」 「生活・総合的な学習の時間」「外国語教育」「キャリア教育」 4. 全体会 (1)協議会分科会からの報告 ・一中ゾーンでは、一小、緑野小、一中ともに「したい」を軸に問いを立て学びのサイクルを回している。 ・情報リテラシー教育とタブレットの適正な使い方についての情報共有を行い、両方の必要性について共通理解を図った。 (2)学校運営協議会委員による意見・感想等 ・社会の授業で iPad を活用して授業を展開していた。一人一人が課題をもって、集中して学ぶ姿が見られた。 ・英語の授業では何とか言葉を作り出そうと奮闘する生徒の姿が新鮮だった。狛江では外国籍の生徒が地域・校内に少なく、この地域で英語を学ぶ必要性が感じられない環境だが、やり取りに対応した授業を展開できていた。 ・キャリア教育は、職業の違いによって長期的に準備して目指すものと比較的すぐに就けるものに分かれるので、将来を見据える際はまずいろいろな職業を調べさせて、子どもたちが自ら判断でき

	るようになるとうい。 ・AI で何でも答えが出てしまうので、子どもたちが本当に考えているか分からない。 ・小学校時代は行き渋り傾向の子ども、中学校では楽しいと通うことができている。 5. 学校長より ・CS も施行から5年目を迎えた。各ゾーンに特色が出てきている。一中ゾーンの良いところは「少しずつ進む、強固にしていく」ところであり、今後も委員の皆様とともに一中ゾーンの連携を進めていきたい。
次 回 の 予 定	令和8年12月9日(水)